

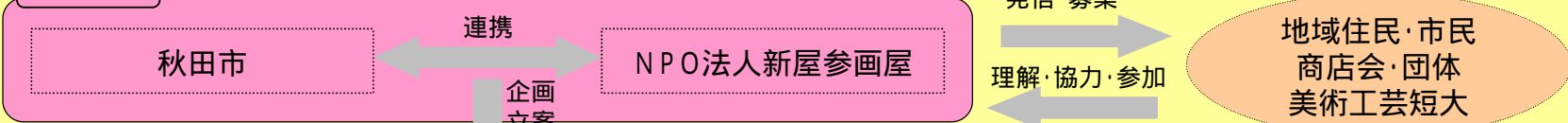
新屋表町通り「参加型景観づくり」の取組

背景 秋田市の中で伝統的な町家が多く残り、歴史的なまちなみを持つ新屋表町通りにおいては、地域商業の衰退、通りの景観変化などに対応するため、平成18年度から地域の関係者が集まり景観まちづくりを展開しており、現在、地域資源を活かした「歴史・生活・元気」の再生を理念に各種活動に取り組んでいる。

地域景観づくり緊急支援事業
～参加型景観まちづくり～

～景観まちづくり活動の推進と地域の活性化を目的に参画・対話型の景観まちづくり～
「対話」を通じた各種まちづくり活動を試行

実施主体



視点

古建築の保全と活用

地域資源の掘り起こしと価値の再認識

住民のまちづくりへの参加

21年度の取組

町家の利活用デザインコンペとワークショップ

- ・デザインコンペ応募数：49作品42名
- ・公開審査会：審査委員5名、聴衆者25名
最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞5名
- ・専門家ワークショップ：利活用案2案にまとめる

地域資源マップの作成

- ・ワークショップの開催：4回開催延べ42名参加
- ・あらやまマップの作成
- ・空き店舗マップの作成
- ・通りの立体模型の製作
- ・まちづくりセッションの開催：3回開催延べ90名参加

住民参加型ライトアップ実験

- ・照射実験1：表町通りの入口「日吉神社」
- ・照射実験2：秋田駅前にある「秋田八幡神社」
一般参加を受付
- ・能代市で開催の「のしろまち灯り」への参加
- ・新屋表町通りでの実施：参加者32名
NPO法人新屋参画屋主催の写真コンテスト実施

10日間に渡る景観まちづくりイベント「参画ケイカン」の開催

まちづくり活動の継続と発展 景観まちづくりのさらなる推進 / 地域の魅力向上 / 交流人口の拡大による活性化

取組1 町家の利活用デザインコンペとワークショップ

課題と目的

重要な地域資源・景観要素である古建築の減少

- ・近年、新屋表町通り沿いの伝統的古建築が減少
- ・これらの保存、保全是昔の面影を後世に伝えるものとして貴重な要素

地域住民の地域資源への気づき(価値の再認識)

- ・現在空き家となっている古民家「渡邊幸四郎町家」の保全・活用方法について検討を行う

景観まちづくりに向けた地域住民の

- ・地域資源への気づき(価値の再認識)
- ・まちづくり活動への市民参加の促進

今後の方向性・課題

今回の活動がきっかけで、町屋の潜在ニーズが確認できた。

- ・若手作家志望のインキュベーター施設
- ・陶芸作家等のアトリエ

- ・コミュニティビジネス展開の場

活動全体を公開・公表することが、新たなつながり(Relation)を創出し、古建築の活用に向けた大きな前進となった。

今回の課題・方向性

- ・古建築の補修・維持はNPOの自主活動だけでは限界
- ・古建築の改修・維持に係る資金問題
- ・維持・整備に向けた事業主体の検討

取組と成果

デザインコンペ

- ・県内の建築系教育機関の学生を対象としたデザインコンペを実施
- ・新屋表町通りに実在する空き家を題材
- ・町家再利用の計画案、空間の使い方の提案、町家と通りの景観提案



題材となった町家



公開審査会(H22.1.23)

募集：H21.11月中旬～12.25

応募総数：49案

審査：公開による審査

審査員：住民、識者計5名

「学」との連携

地域に立地する美術工芸短大における授業展開

- ・美術工芸短大の「デザイン計画概論」で複数回に渡り「渡邊幸四郎町家」を題材として採用

- ・卒業制作課題で町家を題材にする学生が現れる

- ・まちづくり活動へ参加する教員数が増加

産学連携による短大の地域貢献活動の一環

学官民専門家ワークショップ

- ・デザインコンペ入賞作品を踏まえ、専門家による提案を作成し、保存方針等を検討
- ・入賞者を含めた学官民による「学官民専門家ワークショップ」を開催
- ・町家の問題点の洗い出しと対策、活用方法と補修・維持に向けた方向性を検討
- ・資金確保の方法等についても踏み込んで議論



第1回・現地調査(H21.12.12)



第2回(H22.1.30)

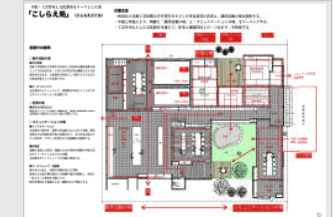


第3回(H22.2.6)



第4回(H22.2.13)

2案を最終提案 模型製作



ワークショップ成果の周知

他団体とのRelation(つながり)イベントにて展示

『参画ケイカン』において、新屋表町通り沿いの空き店舗「旧稻荷」で展示

期間：H22.2.19
～2.28

入場者：延242名



取組2 地域資源マップの作成

課題と目的

通りの景観・まちづくり活動に対する住民意識

- ・景観まちづくり活動への地域住民の協力がいまだ少ない
- ・通りの景観の価値に気づいていない

地域内外の交流の活発化ときっかけづくり

- ・地域住民によるワークショップを開催
- ・地域資源マップ等を製作し、住民の地域再評価のきっかけづくり

今後の方向性と課題

作成した地域資源・立体マップの活用

- ・マップを活用したイベント開催等地域の魅力を発見する機会を創出
- ・住民参加のためのツールとして活用

継続した空き店舗の情報提供

- ・地域の資源として空き店舗が活用されるようPR継続する

他団体との連携の推進

- ・他団体との連携を継続し、活動の輪をひろげる

取組と成果

あるもの探しWSと地域資源マップ

- ・地域住民によるワークショップを開催、現地調査や製作過程での参画

- ・コンセプトは「**地域を歩くための装置**」

第1回(現地調査)

日時:H21.11.29
場所:新屋町内
参加者:18名

第3回

日時:H22.1.30
場所:新屋参画屋
参加者:8名

第2回

日時:H22.1.15
場所:新屋参画屋
参加者:8名

第4回

日時:H22.2.13
場所:新屋参画屋
参加者:8名

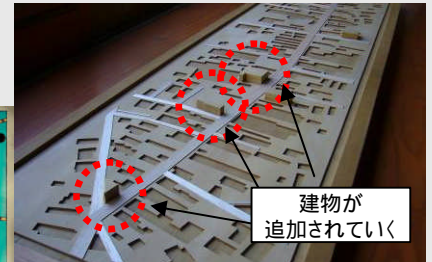


ワークショップ風景



地域資源マップ(地図面)

空き店舗の活用などにより追加し、成長させる



建物が追加されていく

まちづくりセッション

まちづくりをテーマとするセッション
地域の人たちがまちを考えるきっかけを

第1回

日時:H21.11.29
場所:新屋参画屋
講師:秋山孝氏
(多摩美術大学教授)
参加者:32名

第2回

日時:H22.2.20
場所:愛宕町地藏堂集会所
パネリスト:NPO団体他3名
参加者:25名

第3回

日時:H22.2.28
場所:愛宕町地藏堂集会所
講師:亀井岳氏
(映画監督/アーティスト)
参加者:32名



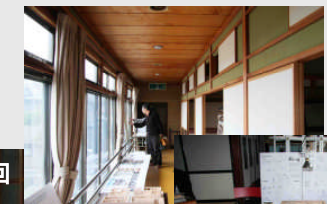
第2回



第1回



第3回



「気づき」に向けた実験的取り組み - Relation

参画行事(新屋参画屋)

日時:H22.2.19~28
場所:

新屋参画屋 / 旧くすりのささき / 旧稲荷 / ひろ建築工房

ハイブリッド2(ハイブリッド)

日時:H22.2.19~28
場所:渡邊幸二郎住宅

新コラボ屋(コラボラトリー)

日時:H22.2.26~28
場所:JA新秋田 旧西支店ビル

総来場者
2,501名



通り沿いの町家や空き家などで展示会を開催
他団体との連携により実施

取組3 住民参加型ライトアップ

課題と目的

失われていく良好な景観

- ・秋田市新屋表町地域には複数棟の町家建築が存在するが、近年解体等が進み良好な景観が崩れつつある

景観への気づきと参加者の一体感

建築物をサーチライトで照らすことで...

- ・普段見落としがちな建築物の価値を再認識し、貴重な景観要素を意識する動機付け
- ・参加者の「照らす」という同一行為を行うことで一体感を醸成し、今後のまちづくり活動への「まとまり」を形成

今後について

照射する意義の明確化

- ・景観要素への「気づきを促す」ことが最重要
- ・建築物の保全や保存を訴えるための手法

参加者増加のための形態の検討

- ・小学生等近隣の子供の参加を促すことが必要（子供が動けば親も動く）
- ・写真コンクールを定着化、新屋表町通りのファンを増やす

景観まちづくりをさらに推進！

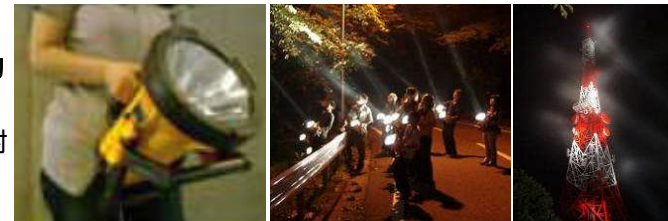
他地域との連携

- ・能代市との共同活動の継続
- ・呉市の活動「カベテラス」との情報交換

取組と成果

「ライトアップ」活動について 大型ライトで文字通り建物に『光をあてる』活動

- 2007 美術工芸短大生を中心に活動開始
花火等のイベントに合わせ電波塔を照射
- 2008 引き続き電波塔を照射
- 2009 活動を拡大、新屋以外の建物にも照射



これまでのライトアップ

- ・これまでも、地元民放TVに取り上げられるなど話題になった
- ・ライトが当たっている様子を見て、出かけてきた親子と交流を持つなど、「照射対象」に対する関心を高めるきっかけになった



今回のライトアップ

最終回は写真コンクールも同時開催。一般参加者も多く、これまでにない盛り上がり。新聞や民放TVにもとりあげられ、注目を集める。

第1回
日時: H21.12.17
場所: 日吉神社(秋田市新屋)
参加者: 新屋参画屋会員他5名

第2回
日時: H22.1.8
場所: 八幡秋田神社(千秋公園内)
参加者: 15名

第4回
日時: H22.2.27
場所: 新屋表町通りの建物
計5箇所
参加者: 32名



第4回チラシ裏面



他団体とのRelation

第3回は地域内外の交流と地域資源の再確認のため、能代市の「のしろまち灯り」に出張参加

第3回
日時: H22.2.13
場所: 能代市
参加者: 25名



能代市の団体との交流は、新聞に取り上げられ、活動PRにつながった